

消費者モニターのコメント
一方的なアンケート調査やセミナー（講演会等）、お知らせが多いので、より食の安全性の知識を得るためにも、食品工場の見学や生産者との交流会などぜひ開催していただきたいと思いま
上記にあったような生産者の顔がわかる（直売所みたいに）ような交流や、生産の現場を見学できたり、食品への安全へのこだわりを聞くチャンスがあればよい。参加費はできるだけ無料で、試食もできると実感もあると思う。
大型店にて求めるのが大部分なので生産者が見えないので、生産者との交流を持ってみたいと思う。ハウスで作られた野菜などは安全性などの心配があるのかないのか等も気になる。食肉も牛豚などどんなどころで生活をしているのか、見学会があればと思う。
生産者との交流、食品工場等の見学会。
モニターの目を向上させなければ、モニターは専門家でないと、生産者等は軽くみていると思うので、どこまで踏み込めるのかは難しい。従って、研修や見学を通しモニターのレベルアップが必要と思う。それを育てるのは行政でないかと思う。
食品工場の見学会など興味があります。たぶん買っている商品が作られている様子を見ると色々な意味で理解が深まりそうです。
定期的な食品モニタリングの活動や食品工場の見学会など、とてもいい勉強になると思いました。機会がないと工場見学はなかなかできないと思います。
食品工場の見学、検査の詳細等を企業に教えてもらいたい。
そもそもですが、安全安心をきっちり守って何ら後ろめたさのない企業って宮城県内にありますか？あるとすればモデル企業として広く紹介して欲しい。また、工場などあれば見学し、現場について現実に目の当たりにしてみたいです。
親子、各町内会の暇をもてあましてお年寄りなどの食品工場や生産地の見学会などがあれば楽しく食という勉強ができるのではないのでしょうか。牛、豚、羊、鶏は捨てる場所がないと言われていて。それらを勉強することにより、食、生、感謝の心が生まれるのではないでしょう
一般の商品と県・地域の生産品との違いが頭で分かっているつもりでも、実際にはあまりよくわからないことが多く、食品工場等の見学会などがあれば一般品との違いの理解について役立つと思いました。普段購入している商品でも、どの様な製法で作られているのかを直接見聞きすることで周囲の人々への説明もしやすく、一般の方に情報提供する上でも、有効だと思えました。
現在のままですと生産と消費者の意見が一方通行の様な気がしますので、意見ばかりではなく食品工場などの見学会があれば良いと思う。
食品工場内を稼働していない時に見学したい。
仕事で小麦を使用しているので、残留農薬が気になります。生産現場の見学などがあれば参加したいと思えます。
先日キリンビール工場を見学してきたが、やはり食品を作っている現場を見学した方が生きた勉強になると思う。
農水産物に対する薬品の消費状況と使用場面の見学会。農水産物加工工場の原材料の入手の流れと記録管理について。
地産地消に関する生産者との交流会、特に道の駅や大型スーパーなどに野菜を出荷している地元農家の人々との話し合い活動の場が定期的にかかれることが望ましい。生産者と消費者との顔の見えるモニター活動を希望する。
生産者、販売者との交流会。常にモニター活動が全地域平均的に存在していること。
モニターの方々だけではなく、市民全体に声をかけて、年に一度でも生産者及び事業に携わっている方、数名との意見交流の場をもって頂き、後々、よりよい安全で安心な品を限りなく求めていきたいと思えます。
生産者と消費者の間でギャップがあるように気がしたので、交流会はすべきだと思えました。農家の大変さなど、消費者にはわからないと思うので、安全さが一番だと消費者がわかると思います。
生産者（農林水産業者）との交流会でもっと深く食の安心安全を知りたい。また現場の人達の声を聞きたい。
食の安全追求で、食品の見分け方の情報勉強会や生産者との意見交換。食の問題が発生した時に、発生防止を行っている生産者の意見を聞く勉強会、交流会への参加。県産品を活用した料理方法等利用方法の確認会参加。
生産者との交流会は、何に、どんな方法で生産しているのか、何に力を入れているのか、熱い声を、少なくとも1年に一度は聞きたい。食べる方は、知らなかったことを教えてもらえる。
定期的な活動と生産者との交流会などを多くしてみたいです。
生産者や輸入業者の方々と直接交流する場を作ってほしいです。
生産者、食関連事業者と消費者との意見の交流。

生産者（県内）との交流の場は是非お願いしたいです。また県内産物の見本市や農水産品の利用（料理）のPR等があれば、是非参加したいです。現在、みやぎ生協で食育の活動や地産地消の活動を行っているので、県の情報、パンフや講演会にも出席できれば幸いです。
生産者と消費者の歩み寄りが必要。チェックばかり一方的にするのではなく、作る側の苦勞を知り、支えるためには、交流する機会を増やすのが一番ではないでしょうか。
生産者との交流の機会を密にしてほしい。
昨年来、体調を悪くし、脚を悪くし、思ったように外出が出来ませんので種々の会合に出席致しかねて申し訳ありません。大きなイベントが市民広場や駅構内で行われていますが、思ったように出歩けませんので、スーパーなどでの地場産品のイベントが小規模ながらも行われればよいと思います。生産者との直接交流は大いに必要と感じます。
モニター同士の勉強会そして交流会。勉強会終了後、どのように生活に反映させているかレポート提出はいかがでしょうか。
食品加工業者との交流会も必要。
仕事が不規則なのでなかなか参加できないでいます。どんな交流会をしているのか気になってはいるので、参加できる時は参加したいです。
県内でも定時の産直所がいくつかあり、休日に野菜、果物、味噌などを購入できるので助かっている。まさに地産地消のものばかり。しかも安い！まだまだ県内には知られていないそんな場所があるので、そのマップPRと、そこで営んでいるのは女性の方々が多かったりするので、その方々との交流などもいいと思う。
生産との定期的な交流（現場主義）。
ただ活動をしているのではなく身についた活動をすべきだと思っています。たとえば資格をとってもっともっと消費者の代表となるべき人物を育てていったり、段階をふんで今何級になっているのかという制度を設けてもらいたいし、地域ごとの交流や活動を通して発表をしたりテーマを決めている研究したり、もっともっと勉強をして宮城県を住みやすくしていくべきだと思ひ
消費者モニターの事業に対する活動は、人間の生きて行く為に最も重要なことであるにも拘わらず、取組みが低く、行政面もよりよい指導を願いたい。お金をかけぬ宿題にも似た関心を高めること。県下の「道の駅」やイベント会場でも県と生産者共に取り組んでと。
中国で日本の名称を使っているとか。このようなことをモニターにも広く知らせて孫の時代に害を残さぬよう、国や県は目を国外に向けて行政を活性化しなければ。国の外交を国民の利益のために働いてもらわなければ。もっと生産者を富ますようにしてほしい。国内だけでなく世界に売り込めばいいのではないのでしょうか。
全ての消費者がモニターであるという意識を消費者も生産者も流通業者も持つべきと思う。こうした意識向上運動を行ってはいかがかと思ひます。
いくらモニターがいても生産者、加工者の意識や指導、検査の強化ができなければどうしようもないのでは。生産者、加工者、官の検査、指導体制のモラルの向上、本気での取組み、その上でのモニターだと思ひます。
食の安全安心を提供して下さる産地へ赴き、生産者の皆様のお話を伺う機会が持てると実情がリアルに伝わってきて、消費にも結びつくと考えます。生産者を応援してゆく活動がしたいです。生産者と意見交換がしたい。
生産者の方にお話を聞いたり、実際にいろいろな作業を通して学ぶ機会を大切にしています。（援農ボランティア）仲間づくりにも役立っています。そのような活動は無理でしょうか？
この事業を意義のあるものにするためには、活動中のアンケート調査をもとに必要な対策を講じることにほかならないと思ひます。現在の食への不安は消費者へ確かな情報が届いていないことも原因のひとつであるのは間違いない。生産者、食関連事業者、メディアとそのことについて、さらに努力が必要であり、消費者である私達も研修会などへの参加も含め、食について知識を持つことが大切と考える。生産現場を視察することなどは有意義であり、今後の活動に取り入れてほ
行政からの情報は補助金がおりにいるJA、生産者、製造会社のものが多いですが、そうではないその他の現場の現状の方が多はずで、有名で資金のおりにいないところの現状、現場の状況が知る機会を創出してほしい。資金がおりにいるところは、他でも話は聞けます。また県の悩みの現状を知りたい。（何が問題で、何が悩みか、全国的に対比して）
定期的に事業者、生産者、消費者とのミーティングなどを行うことが、常に消費者の立場という意識をもってもらう重要なポイントとなると思ひます。
生産者の組合長とかと会って苦勞話とか聞いてみたいです。漁業の人とか、生産者の顔を見たい。でも県内全員の方達に知ってもらうのに大変かも。
地方に住んでいるので、仙台市内のセミナーに参加することはなかなかできません。「新幹線代をかけてまで」と思ってしまうのです。もっと身近で参加できる機会を設けてください。生産者は仙台以外が殆どなので、これではアンケートしか意見を言えないので残念に思ひます。

<p>食の安全安心に関して、生産者の取り組みを理解したり、触れたりする機会はたくさんあるのに、行政機関からの情報発信が少ないと思います。「みやぎまるごとフェスティバル」は意外に消費者に知られていないし、勾当台公園や県庁で実施される即売会の情報もポスターやネット等を通してもっと広報し、消費者も参加できる形にして行ってほしいです。</p>
<p>食育の学ぶ機会を増やしてほしい。生産者、流通業者、消費者、行政、教育機関（農学、生物等、工学、医学、経済学、政治学）、各々の立場から見た食とは。</p>
<p>もっと実生産者の取組方等（生産までの経過）を消費者の前で発表して頂きたい。学識経験者や××常務理事さんとかの講演も大事ですが。食品は特に生命への糧となる重要であるから、直接生産している方々の生の言葉がより消費者へ届くのではないのでしょうか。</p>
<p>平日の午前中にやっていただけるとありがたいです。地産地消など地元の生産者の方のお話や東北ならではの取組を学んでみたいです。</p>
<p>モニタリングすることで消費者自身も勉強になるし、生産者、流通担当者にも緊張感が保てると思う。多少の謝礼はあったほうが張り合いになる。</p>
<p>消費者による生産者、食関連事業者の監視。</p>
<p>年1回の会合でなく少なくとも年3回開催して皆さんとの意見交換をしたい。去年はせっかく生産者が来ていたのにお話が全然聞かれず残念でした。出席した人同士が話し合える時間を作ってほしい。</p>
<p>生産者と消費者がより近づけるような活動を希望します。</p>
<p>消費者の意見、希望などが生産者、販売業者にきちんと伝わり、改善、改良されるようなシステムがあれば、それによる活動ができるとうい。</p>
<p>食品の安全性について生産者を教育する必要がある一番大切に思われます。大変なことでしょうが地産地消を心がけて小中学校、公共の場で率先し不足な品が近郊から流通も良。農薬を使わないですむと思います。</p>
<p>消費者にもある程度価格が高いことを理解してもらおうようにしていただきたい。生産者の立場を知ってもらいたい。</p>
<p>消費者モニターアンケートは、食品表示の知識が試される良い機会なので、積極的に参加し、回答していきます。</p>
<p>この様なモニターアンケートは大変勉強になり、ありがたいことです。</p>
<p>セミナー等の催事は仙台市が中心で参加困難。年数回は地方で開催してほしい。モニターが県内に何人いるか分かりませんが、もう少し勉強会等に参加し知識を身につけ、種々の活動に参画したいと思います。</p>
<p>年に1回のモニター研修に都合が悪く出席できないことがあるので、県で開催している食品関係の研修会等に差し障りのない程度で私達が参加できるものがあれば、情報をいただけないものではないでしょうか。</p>
<p>セミナーや研修会に出席したくても、平日の午後で開催されることが多く、いつも断念しています。モニターは主婦の方が多いと思っているので、子供が学校に行っている午前中や土日等に開催してもらえると出席率は上がるのではないのでしょうか。</p>
<p>いろいろな活動、趣味で重なってしまうので、モニターできない。</p>
<p>消費者モニターになってもあまり活動が出来ないことです。インターネットを利用できる環境でないこと。家族構成の年代が高くなり、食品、食材の購入も限られてきています。モニターの辞退を希望します。</p>
<p>消費者モニター向けのセミナー案内を送って頂いていますが、正直小さな子供がいる主婦は参加しづらい時間帯の開催が多く残念に思います。実際に台所をあずかる子育て中の母親達の意識が変えられなければ、安さや節約ばかり追い求める今の状況は変わらないのではと思います。子育て世代の方々にもっと正しい知識を知ってもらえる場を増やしてほしいです。</p>
<p>仙台でのセミナーは出席できませんが、古川には合庁がありますので、同時にテレビ会議のような形で各地をつないで開催できれば良いですね。モニターの方々は仙台中心にいらっしゃるのだと思います。</p>
<p>セミナーなど案内をいただきますが、平日の午後からの時間が多く、都合が合わないことが多く、参加できることが少ないので、モニターとして申し訳ないと思います。平日の午後の開催というと、限られた人の参加になってしまうのではないかと思います。</p>
<p>消費者情報の提供という観点から考えるとモニターの質（知識）の向上が重要であると思います。モニターに適正な情報を早く連絡してほしい。現状はマスコミからの情報が早いので先入観におちいつている傾向があるので、公正なモニターということも考えてほしい。</p>
<p>県政だより等によって広く県民に広報活動をあらゆる分野で実施して欲しい。（募集、セミナー、アンケート結果発表、その他モニターの活動報告等）</p>
<p>モニター活動に参加する機会がほとんどないというのが今の現状。もう少し買い物等の役に立つような情報等を発信願う。また、問題になった事案のその後等、経過説明という形で知らせて頂くと安心であり参考にもなる。</p>

各地のモニターが活動した結果を向上願いたい（行動結果を知りたい）。広い分野の追求でなく一局を集中的に調査して問題点の発見、改善に努める手法を取り入れてはどうか（徹底的にすること）。
食の安全安心について高齢者への情報提供が不足していると思います。消費者モニターの活動の一つに高齢者への分かりやすい説明が一人でも多くの人にできるような研修の場があれば良いです。トレーサビリティは大変良い取組みとは思いますが、利用したことが一度もない高齢者が殆どです。
モニターの今後の活動を求める前に、これまでのモニターの活動実績や活動によって何がどう変化したとか、モニターの活動状況を知らせる事の方が大事だと思う。現状は何の報告もない。行政の形式的な活動でしかない。日本の国政は変わるんだヨ。
消費者モニター事業の県内のマスコミ（TV、新聞）を結びつけ広く県民に知ってもらうことも必要と思います。
県で食の安全についてどのような取り組みを行っているのか要点でよいのでモニターに広報してほしい。
小さい子供にも理解できるような消費者モニター事業を企画してほしい。
モニターとしての知識を深め、より適切な判断ができる研修を望む。
一度こういう会議に出席した際、子連れのモニターの方がいて子供が騒ぐため話が全く分からなかった。厳しい意見かもしれませんが、子連れの方は遠慮してもらいた。
消費者モニターになって日が浅いので（モニター活動としてはアンケート調査の2回目）、実際に他にどんな活動をしているかが未だ把握できていませんので、今後の活動については具体的にモニターとしてどのような活動をすれば、どんなお役に立てるのかを今の段階ではお示しできない様に思います。
県産品の食品のモニターを募集する事があつたら、応募してみたいです。モニター活動を通じて、謝礼が発生する様な働きと、役割を果たしていきたいと考えています。
もっと若い方々にモニター事業に加入して頂いたら良いのではと考えております。
県産品を身近な場所で購入できるような取組をしてほしいです。県庁1Fで新鮮な野菜を週1～2回（平日でOK）販売して、モニターが購入し意見をメール等で投稿。
食の安全安心確保の観点から、県民として基本計画推進に少しでも役に立てるようモニター活動をしていきたい。
県内各地に分布するモニターを活用して、小売商品の実態などを把握して、調査研究してはどうか。
小売店が減少しており、大手スーパーにおいて購入することが多く、どうしてもモニターとしての調査ができない。
モニター制度に参加して自分自身の食に関する関心度が向上したと実感しています。これからはできれば継続して参加したいと思っています。過去2回と今回（10/21）のセミナーは前もって予定と重なって又参加することができなくて残なんです。次の機会を待っております。
過去に食の安全安心のためモニター活動を殆ど実施していないが、今後のモニター活動の予定を把握して、真に実効のある活動に注力したい。
消費者モニターの具体的な活動についてはよくわからないもで、何をしたいのかわかりませ
消費者モニターになっても個人的に学習を深めるだけで、学習したことをどこかでもっと多くの人に知らせたい。その手だてがわかりません。
消費者モニターはただ登録しているだけでは良いとは思いません。食の安全安心の活動をして、モニター活動の意義があると思います。食品表示ウォッチャーの様な数多く調査でなくても、疑問や感じた点を知らせられる様な活動をして良いかと思うのですが。消費者モニターも食品モニタリング活動も大事かと思えます。活動内容の濃い物をこれから希望します。
消費者モニター事業・食品表示ウォッチャーは役所がやる事と思うが、一般に調査を委託するなら、謝礼をもっと上げ、1年交替だけでなく継続して行うようにし、調査回数も増やしたらどうかと思う。
消費者モニターの年代の層を大きくしてほしい。
店舗調査活動（モニターに委嘱する）。
本年度、初のモニターになりました。私が無知であるかもしれないのですが、年間行事（事業）内容を把握しておりませんので、何ともお答えできません。申し訳ございません。
消費者モニターの名だけでは前進は難しい。全県に渡り一商品同じ条件でチェックリスト作成モニタリングはどうか。長期1～2ヶ月（週2～3日）徹底調査することによって意識改革及び向上心に繋がると思います。
消費者モニタリング活動について、モニターによる食品監視は実施されていると思いますが、これはあくまで店に対して非公開で実施しておりますが、今後、食品監視してますよと店側に分かるような調査の公開を表示しながら行う事も必要ではないか。

<p>地方（中心部以外）だとモニターできる店も限られてくるので、習慣的になり易い気がする。異変が無い方が良いという考え方と、限られた店でのちょっとした異変に気づく事が良いのか？とも思う。活動が単独なので判断に迷う事があったりする。行政サイドの話聞く事も大切だし、モニター同士の意見交換会もあっても良いのではないかなと思う。食の安全は生活する上での必須条件なので更なる活躍を望みます。</p>
<p>モニターが同士に呼びかけ、活動や意識向上に向いたい。（他団体等と共に）</p>
<p>消費者モニター同士、夕食会等で意見交換できる場がほしい。ポットラックパーティ形式するなど、参加しやすい形で。仙台での活動が多いので、地域ごとに行ってほしいです。</p>
<p>情報の交換ができる機会又は場所が身近にあるといいと思います。細かな、ささやかな知識、情報でも交換できると、消費者モニターの目線も違ってくると思います。庁舎に行くには、場所、雰囲気等、行きづらいと思う時があります。</p>
<p>2～3月毎に集まる機会を。息の長い取り組みをモニターは持つべきだと考えます。</p>
<p>年に一度アンケートに回答する程度で、活動らしい活動をしていない私は、食品表示ウォッチャーや食材王国みやぎの商品モニタリングなど食品に関するモニターを掛け持っていますが、管轄が各々異なっているので、連携した取り組みをしたらどうかと思います。</p>
<p>「声の交差点」に掲載されたこのような問題（食品消費期限分かりやすく）は、モニターとして放って置けないと思いますが、いかにもお役所仕事の典型ですね。改善すべき余地はあると思います。いや、改善すべきです。</p>
<p>消費者モニターとしての活動は、はっきり言って活動はと聞きたくなる程、食に対したずさわってないと思います。自分の目と口と味を見て、何か行動するモニターとして、モニターの自覚をしたいと思います。紙の上でのアンケートでは伝わらないのではと感じます。</p>
<p>アンケート調査と研修会参加のみである。質が深まらないし横の連絡がとれないので効果が低いと思う。モニターとしての自覚も不足と思う。県民への浸透を図るには食関連者との話し合いと役割分担を明確にすることによって県民に浸透するものと思うし、自覚が深まると思う。自主的にと言われるかもしれないが、今や地産地消も安価な物質に移動している傾向にあると思う。バラバラよりも集団の力は強い。</p>
<p>消費者庁がこの度新鮮津されましたので心強く思っておりますが、本当に消費者のための庁であるようモニター事業の声を大いに届くよう益々の活動を活発にしていくべきだと思います。日本人の食の安全のため頑張ってください。</p>
<p>私の職場は飲食店と物販を行っていますので、日頃から食の安全安心を心がけております。農産物を販売して気づいたことですが、食の安全安心の取り組みがお客様に十分に伝わっていない様です。お客様の反応が感じられない。例えば、エコ栽培、特別栽培、有機栽培で作られた農産物と一般的に作られたものを並べて販売しても安い物を買っていくようです。今後、お客様に何が安全安心なのかPRをしていきたいと思っております。そしてモニターとして安全安心の取り組み方についても調査していきたいです。</p>
<p>郵送の分のアンケートだけ参加します。</p>
<p>今回のようにアンケートも必要性は（重点）大事だと思います。</p>
<p>実際に作っている方のお話が聞きたいです。生の声を聞いて問題点等を見つけて改善していきたいと思っております。</p>
<p>座談会や意見交換会の積極的開催が必要だと思う</p>
<p>生産現場の視察等</p>
<p>販売されている野菜等（果物）の残留農薬の検査を実際見せていただきたいと思っております。</p>
<p>食品工場での安全性等の取り組みを聞いてみたいと思っております。</p>
<p>県内消費するにしても県内の産物がどのようにして作られているか等知りたいたいです。</p>
<p>腰痛、関節痛で加齢も伴い、なかなか参加できなくてすまなく思っています。</p>
<p>健康の源である食について学ぶことは大切なことだと思います。開催が仙台ですので出席できず残念に思います。各地まわって開いていただければいいのにと思っています。</p>
<p>セミナー開催場所が仙台だとなかなか思い切って足を運ぶ事ができません。色々勉強したい気持ちがありますので、各地区各市内などで開催して頂けるのなら気軽に足を運べると思っております。</p>
<p>仕事をしているため、休みが合わず参加できない事が多く残念に思っております。結果等を市政だよりを利用したりして広く皆さんにお知らせしてはいかがでしょうか。</p>
<p>セミナーに出席したいと思っておりますが、日程が合いません。土日などに開催できるよう願います。</p>
<p>育児で多忙なためなかなか参加できませんが、メールやFAXなどを利用して続けていければと思っております。</p>
<p>セミナーにはなかなか学校の行事、子供の習い事などと重なったりして参加できませんが、参加可能な時には参加していろいろ話を聞いてみたいです。</p>
<p>平日はセミナーに参加できず、せっかく開催していただいているのに、申し訳なく思います。食品のモニタリング活動なら、忙しくとも食べることはきちんと行っているのでも協力できるかとも思います。実際作っているとことも興味があります。</p>

何時も気になっていますが、午後になると帰りが心配になり足が遠くなります。なので、送られてくる資料には全部目を通してあります。
仙台市内で開催してほしいです。名取などではなかなか行きたくても行けません。
いつも気になってはいますがセミナーなど参加することができず、すみません。
セミナーの時間が合わず、まだ一度も出席したことがありません。開催曜日変更に期待したいと思います。
石巻市内でやれると参加できる。
アイデア提供は実践方法も含めあるものの自主実践する時間が残念ながら現在とれない。
平日開催行事だけでなく土日参加で交通の便が良い所開催だと都合が良いです。
勝手ですが遠いとなかなか参加できないので、地方毎に開催することも考慮していただくとたすかります。アンケート等はいつでもどこでも参加できるので、できるだけ記入したいと思いま
日々の消費生活の中で消費者からの情報収集をしっかりとやるべき。情報収集の方法が片寄り過ぎている、消費者団体などに気をつかい過ぎ、一般の素直な声を聞くべきです。
ご意見箱みたいなもの、一般の方の声がよく聞ける仕組みづくりをして、きちんと吸い取ってもらいたい。
平日の午後にセミナーがあると参加できないので、どんな話し合いがあったか知らせてくれると嬉しい。
野菜類にも国産であっても信用できない物がありますが、中国産はそれ以上に信用できない商品でつい原産国を見ただけで棚に戻していますが、全ての輸入食品の検査情報が店頭で分かったら良いなあと思います。
もっと情報発信してほしい。アンケートばかり答えていて何も身にならない。
食の安全性の項目として示されている事項について解説されている手引き書 or ガイドブックの如きものはあるのでしょうか？どのような食品添加物がどんな食品に含まれているのか？抗生物質がどのような食品に含まれているのか？食品に係わる環境汚染物質、アレルギー物質にどのようなものがあるのか？など素人の消費者に理解できない事項が多々見受けられます。
せめて宮城県内の食の情報をお知らせ下さい。事件、法改正、大きな変化のある時。
活動報告は「県政だより」でも取り上げてもらいたい。
個人としては食の安全安心の事を友人、知人などと話したり食事の事を分かる限り教えたりしています。みやぎの食品を県政だより等で一つずつ紹介してはどうでしょうか。
きめ細かく消費者に広報、活動をわかりやすく知らせてほしい。
公報（県民だより）に消費者に関するコーナーを常時設け情報をながしていただく。
食に関する正しい情報をマメに流してほしい。
個人としての生活を基準にモニタリングに参加していますが、年齢的に幅広い年代がもっと必要と思います。特に成長期の子供達を育てている方々への食の安全のアプローチがもっと必要です。子供達に直接行う活動も効果的だと思います。
食の大切さ、これからの子供達へ正しい食生活のあり方を教えられるような学校、主婦の勉強が大切だと思います。添加物がやはり心配です。
出前講座で多くの方々啓発してほしい。小さい時からの教育が一番だと思いますので、家庭で、学校で、食についておしえてほしいです。宮城県は山あり海ありで自然がいっぱい、大切にしてほしいです（自然を壊さないでねー）。
テレビ、マスコミ等が取り上げておりますが、次世代を担う子供達が無事に元気にはつらつとして生きていけるよう、10～30歳代の子育て世代の方々に食に対する安全についての啓蒙運動が必要不可欠と思います。
誰もが食育について認識し、毎日の食事に活かされていければと思います。子供達への講習会（講話、調理実習）を実施していきたいと思います。
食物表示が食品の種類によって異なるので、消費者が完全に理解するのは困難。表示方法を消費者に周知させる手だても大切だが、誰でも簡単にわかるような単純な表記方法を専門家に考えてもらう運動に力を入れてもらいたい。
食物アレルギーの表示を小売店にも希望
商品を選ぶ際に、不便に感じること、例えば原材料名がひっくり返すわけにはいかない食品の裏底に細かい字で表示されているとか、透明フィルムによく見ないと分からなく表示されているとか、商品によって賞味期限や消費期限の表記の場所がまちまちで統一して欲しいとかのアピール
何回かセミナーに参加していますが、学者とか中央からの講師の話等で、真に目的に沿った会議（セミナー）とは言い難いという感想をもっています。地元業者の取組状況とか、県の指導立入検査の様子とか、もう少し身近に感じられる内容であればと思っています。
何度か参加してとても勉強になりました。ただ、私はごく普通の主婦ですので、もっと参加しやすい様な難しい話でなければ友人も誘えるのにとつくづく思います。これはこれでよいのですが、もう一つ別にランクを下げて一般人も参加しやすいグループがあってもいいと思っています。御検討の程お願い致します。

食料の自給率をもっと高くなるようにいろいろな講演会をやって欲しい。輸入品について勉強したい。食中毒について勉強したい。アレルギーについて勉強したい。
食の安全安心の check をどのようにやっていくか難しい。無農薬等の表示方法、無農薬野菜を販売している場所等の紹介。「宮城県産」の表示がよくわかる方法は？
学習したい、最近の情報を得たいという気持ちがあるので、セミナーはこれからも続けて欲しい。ただし、仕事をしているので、平日の日中は出席できず、いつもくやしい思いをしている。
最近気になったことは、花王エコナの発ガン物質が入っているかもしれないという事での発売中止問題。食品添加物が身体に悪いと言うことは理解しているが、それぞれの副作用についてまでは詳しくわからないので、そういうことを取り上げてほしい。
セミナー等には誰もが参加できる広報が必要と思う。また、大人だけでなく高校生等にも参加できる体制で食の安全安心に関心をもってもらうことも今後に生かされて行くと思う。
仙台まで行くのはちょっとと思う人達のために小規模セミナーを開いていただきたいと思いません。食品毎に消費者が偽装を見抜く方法などあれば教えていただきたいと思いません。賞味期限のシールすぐ貼り替えができるような商品が多いのも問題だと思います。
仕事をしているので、出来れば近辺で活動できるように定期的に移動してほしいです。
2ヶ月に一度でいいから勉強会を開いてほしい。
試食会等実費精算でも良いから実施してほしい。
農産物直売所における品質の調査の確認も必要ではと感じることもある。
各地区による（例：仙台なら各区ごと）又はさらなる各団地や町内等による細かなグループに分けてテーマを決めて活動し、色々のテーマをまとめて総合的に集計していけば良いと思いません。
活動の回数が少ないと思うので、増やした方がよい。
アンケートに答えているだけなので、活動している気がしません。もっと参加型の活動があればと思いません。
食品モニタリングにしても、全国規模の店には行かないで県内に本部があるような店に行つて欲しいとよく言われた。国>県>市という公式がまだ健在のようで、そろそろそんな垣根を取り払った方がよろしいのではないですか？
偶然発見したことについて、インターネットで素早く報告できる体制が必要。
市場チェックを頻繁にすべきでは。年2回程度では意味がなく形式的だと思う。
食品表示などおかしいと思った時すぐに連絡を取れる機関や体制を整えておくことが大事だと思います。
私の地域で男女20名位の年輩者のグループで月一度懇話会を開いております。テーマに従い、市の生涯学習の講師依頼で続けておりますが、このような一般の市民対象で「食」の勉強会を小グループに浸透するようにはできたら良いのではと考えております。謝礼なしの講師は無理なのでしょうか？
消費者同士が集まる機会がないのも意見などわからない。できればグループ活動などしてみたいと思いません。
政策提言をさせてほしい。それをとりまとめ消費者庁、農林省等に強く提案活動をしてほしい。県庁内で農政部局と連携して、一体的に取り組んでほしい。バラバラに動いているように見える環境をキーワードに実態（実情）から物事を設定する発想が問われているのではないのでしょうか。その構築から「みやぎ食の安全安心取組宣言」事業のスタートと思われれます。世界的視野から宮城県はどの位置にあり、どう取り組むべきかが、今必要な時と思われれます。
食の安全安心のためにも地産地消の意識付けと向上に地域において活動の場を広めて取り組むことが大切なことと思いません。
食の安全について、私は一番関心をもっております。現在の我が国では100%安全な食品を手に入れるには、お金ではなく自分で作物をつくり、そして自ら加工して行くほかはありません。我が国の産業も農業を重視して土木・建設業より農業への移行等、自給率をもっと上げて行く方法について活動しなければなりません。青少年、幼児に安全な食物を我々は与えねばなりません。50年前以前の食事が理想です。（無農薬、無化成肥料、無除草剤の作物）
安全で安心して得られる食品を提供し消費者に信頼されることが販売力に寄与すると思いません。私は、野菜について思うことは、自分も多少栽培をしていますが、どんな野菜でも無農薬野菜を栽培は難しいのであるから価格が高い、その点消費者のかたも理解の必要があると思う。今の農業の形態はハウス栽培が主でいち早く栽培して高価に販売、それがいいかどうかは消費者が判断することです。国産の野菜栽培は比較的安全でないのでしょうか？消費者の方も農家の現状を良く知って日頃食べている新鮮な野菜に感謝してほしいですね。その他の食品については調べて消費者に安心できるように活動してほしい。
自分の目で消費者として見ていきたいです。
高齢化社会の一員として若年層の無関心及び食育を含めた食料供給、消費のあり方について真剣に取り組まなければならない時期に来ている。

「安全安心」を考えるとどうしても外国産には手が出ませんが、あまりにもスーパーなどで見受けられるのが「怖い」ような気がする。
宮城の食材の魅力を地域、全国に発信する土台となる意見を示す。遠い産地、海外の産品を食べる危険さを世に示す。
食の安全安心は自分達の健康に直結しているのです、一日もおろそかにできない問題だと思います。県民が健康であれば、文化、教育、産業も元気だし、ひいては国全体が元気になる。県民、国民の将来も安心と思うので、安全安心は何より大事な事だと思う。
昨年、食表示ウォッチャーをさせて頂き、県での取組もとても身近に感じられ、私自身もよい勉強になりました。これからも一層食の安全安心に関心を持ち、学び、参加していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
今後も安心して安全な食品がお店に並んで買える環境でありたい。
改善するところは改善し、県民の意見を重視して子供達の育成のためにも全力を尽くして食生活の安全の努力を期待し、県民の寿命が一日でも長く延びるような結果を強く切望する。
県産県消の取組をさらに進めてほしいです。
みやぎ食の安全安心に主婦は情報を求めていますので、よろしくお願ひします。
県民へのより積極的な参加を推進すること。
県からの「食」に関するデータが発表された時など、自分の役割もこのデータの一助になったのだと思うことがあります。うがった物の見方をすると「食（食べ物と食べること）」に対してあまりにもお粗末で一言で表現すれば「食べりゃあいいんだ」の考え方が多くなってきているようです。今の日本人は「食」で亡びるのではと心配になってます。食（食べ物と食べること）を大切にす取り組みの強化に着手したいと考えております。
東北の米どころ宮城にいて100%新米を食べたいという願ひで、新米とは？新米の基準とは？米について勉強してみたい。県内の公共的な場所、施設で、イベント等に一時的に販売される農産物の安全性の確認の方法等。
万民の生命に係る重要課題あり、継続して積極的に取り組んで行くべきだと思います。
食品表示は統一は出来ないのか。加工品、食品の検査及び商品の全てに科学検査ができるといいねすね。消費者もゴミを出さない環境をもっと考えよう。生きる物は口に物を食する物を作っている人、関わっている人、全ての人、自分で物を作ったら自分でも食べるべきです。とにかく、食に関わる全ての人、自分の作った物を責任を持って食べて下さい。地球に生きる者達全て、食するという事がいかに大事が一人一人が自覚すべきです。それをどうすれば皆に分かって貰うか、皆で考える時です。いつもどうしたら皆に分かってもらえるか、どうしたら伝わるか考えましょう。毎日です。
消費者が現実を知り、賢くなれば良いと思う。
宮城県は地産地消で食物には恵まれていると思いますが、食料自給率は気になることです。どのようにすれば少しでも上がるのか学びたいです。
食の安心、安全は決してみのがすことの出来ない重要なことであり、手を抜いてはならないことと思いますが、あまり神経質に細部にこだわりすぎても逆効果になってしまうと思う。
精力的に活動して欲しいと思う。
今まで以上に目を光らせ耳をすましたいと思ひます。
消費者の一人としてアンケートに答えることはできると考えて参加したので、安心して食生活を送るためにも食品に対する正しい知識、行政の取り組みや法制度を知らなければと思ひました。宮城の豊かな産物、食文化を支え、発展させる地産地消の施策を継続して下さい。
活動する場というものもないので、何かあればと思ひ気持ちがあります。
消費者が食品表示等、安全性を意識しながら、日々食品を選んでいることを（少数であっても）情報として流すことにより無関心な消費者、生産、事業者もやはり低価格だけを追求してはいけないと思うようになるのでは。難しいことですが、関心のある方々に活動を広げてもらひ、その様子を伝えることは大切なことだと思います。
十分に活動していると思われまひます。なお一層皆様と協力してよりよい食品造りのためにも活動を進めてもらひたい。
あまり行政がやっているという形式ではなく、もっと親しみやすく興味がわくような活動ができたらいいと思ひます。